

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉実習指導Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SCMP3184 PSMP3484
2. 授業担当教員	山口 大輔		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉実習指導Ⅱは、実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと精神保健福祉実習を軸として継続的に展開するよう構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。</p> <p>精神保健福祉実習指導Ⅱでは、ソーシャルワーク基礎実習の実施を軸として、実習実施、また実践に必要な援助技術及び関連技術について学習するとともに、ソーシャルワーク実習の実施に向けて課題の明確化、また課題達成に必要な知識及び技術について学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>精神保健福祉実習指導Ⅱが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <p>①実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。</p> <p>②ソーシャルワーク技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。</p> <p>③記録について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。</p> <p>④実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。</p> <p>⑤実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。</p> <p>また、これらの達成を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得し、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得するための基礎を身に着ける。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習コンピテンス確認テストⅠ・Ⅱ (合格点に達するまで再テストを行う)</li> <li>2. 配属された実習施設・機関の概要を調べレポートにまとめる (2000~4000字)</li> <li>3. 実習施設の概要、実習計画 (案) の作成</li> </ol> <p>*予習課題や探求的な課題を積極的に取り組み、主体的、対話型の学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習 (精神保健福祉専門)』中央法規出版</p> <p>東京福祉大学『精神保健福祉実習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】 精神保健医療福祉白書編集委員会編集『精神保健医療福祉白書』中央法規出版</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、実習に向けて必要になる事前知識を身に着けることができたか。</li> <li>2、実習に必要な書類の準備ができたか。</li> <li>3、実習後に実習で気づいた自己の課題と学びを言語化できるか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、実習に伴う提出物 30%</li> <li>2、課題1と2 40%</li> <li>3、授業への積極的参加態度 30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ることを。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。</li> <li>2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。</li> <li>5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。</li> </ol> <p>教員は以下のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加 (発言、発表等) できるよう双方向対話型の学習環境を作る。</li> </ol> <p>遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</p>		
13. オフィスアワー			
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉実習指導Ⅰの振り返りと確認</li> <li>・精神保健福祉実習指導Ⅱの講義内容、進め方の説明</li> </ul>	事前学習	精神保健福祉実習指導Ⅰで学んだことを振り返る

	: 実習までの流れの確認		実習コンピテンス確認テストの実施に向けて自己学習を行う
		事後学習	実習に向けての課題を書きだし、実習までに解消する方法を考える
第2回	・実習記録の理解 : 実習記録の意義・書き方を理解する : 実習記録の取り扱い等に関する説明	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	日々の出来事を選択し、実習記録に記入する
第3回	・相談援助技術の理解と実習における実践 : 実習場面において必要となる精神保健福祉士としての技術を学ぶ ・実習記録の理解② : 実習記録の書き方演習	事前学習	精神保健福祉士として必要な技術について復習する
		事後学習	授業で学んだことをまとめる 実習までにやるべき自分の課題を書き出す
第4回	・ケースワーク記録の理解 : 個別援助実践の意義を理解する : ケース記録の意義を理解する : ケース記録の全体を把握する	事前学習	『学習の手引き』のケースワーク記録見本に目を通す
		事後学習	実習において個別援助を実践する意味についてまとめる
第5回	・ケースワーク記録の理解 : アセスメントについて : ジェノグラムとエコマップについて : 事例を用いてケース記録書き方演習	事前学習	アセスメントとは何か調べる
		事後学習	自分に対するジェノグラムとエコマップを作成する 授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第6回	・ケースワーク記録の理解 : プランニング・インターベンションと評価について : 事例を用いてケース記録書き方演習	事前学習	プランニングとは何か調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第7回	・ケースワーク記録の理解 : 事例を用いたケースワーク演習①	事前学習	あらかじめ配布された事例を読み、わからない用語を調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第8回	・ケースワーク記録の理解 : 事例を用いたケースワーク演習②	事前学習	あらかじめ配布された事例を読み、わからない用語を調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第9回	・実習プログラミングシートの理解 ・個人情報の保護 : 個人情報保護法、精神保健福祉士法、倫理綱領など専門職における秘密保持義務を理解する	事前学習	実習の手引きにある実習プログラミングシートに目を通す
		事後学習	実習において秘密を保持する必要性やそれが困難となる場面などを想定しどのように対応すべきか、考察を深める
第10回	・それぞれの実習における課題を理解する : 実習の手引きに書かれた内容を理解するとともに、自己の実習課題を再確認する	事前学習	『実習の手引き』のそれぞれの実習の目的に目を通す
		事後学習	実習で何を学びたいか学習ノートに書き出す
第11回	・実習配属先について理解を深める : 配属先実習施設に関する情報収集 : 施設の概要、実習計画の作成について理解する	事前学習	『学習の手引き』の実習施設の概要、実習計画(案)見本に目を通す
		事後学習	配属先実習施設についてホームページ等を利用して情報を収集する
第12回	・実習施設の概要、実習計画(案)の作成 : 自己の実習の意義、目的を再確認する : 実習施設の概要、実習計画(案)の記入と添削・確認	事前学習	実習施設の概要、実習計画(案)を作成する
		事後学習	施設の概要、実習計画について、添削された箇所を再度修正する
第13回	・スーパービジョンと巡回指導の理解 : スーパービジョンについて理解する : 巡回指導の目的と内容を理解する ・実習計画の完成 : スーパーバイザーとの協議に関する説明と確認	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	実習巡回教員への挨拶用紙の記入をし、各自実習巡回教員に挨拶に行く
第14回	・事前訪問に向けた準備 : 事前訪問の目的と意義の確認 : 実習計画においてスーパーバイザーと協議したい点の確認	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	見学実習の目的と意義をまとめる 見学実習の日程調整を各自行う
第15回	・学習のまとめ ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認 ・SW 基礎実習/精神保健福祉援助 A 実習に向けて最終確認	事前学習	施設実習までの課題を書き出す
		事後学習	実習記録への記名等実習に向けての最終的な準備を行う

備考：実習及び実習コンピテンス関係の流れ ※編入生個々人の状況により異なる

実習コンピテンス確認テストⅠ・Ⅱの実施	授業初期～中盤
ソーシャルワーク基礎実習	配属先決定 10～11月頃
実習施設・機関の概要レポート作成	配属先決定後
セルフアセスメントシートの実施①	授業初期～中盤
ソーシャルワーク基礎実習事前訪問	授業終盤
ソーシャルワーク基礎実習	春休み期間
セルフアセスメントの実施②	実習終了後各自実施して実習記録に閉じて提出する